



Agilent AdvanceBio 脱塩 RP カートリッジ

バイオ医薬品特性解析時の脱塩操作がオンラインで可能

モノクローナル抗体などの複雑なタンパク質の特性分析では、アフィニティ、イオン交換、サイズ排除クロマトグラフィーのような複数の技術が用いられます。しかし、これらの技術に使用される移動相は非揮発性塩を含んでいるため、MS 検出中にシグナル抑制が生じる場合があります。

AdvanceBio 脱塩 RP カートリッジを使用すれば、MS 検出の前に高速かつ効率的にオンラインで塩イオンを除去することができます。このカートリッジカラムは、採取フラクションを脱塩するために、任意の LC システムと組み合わせて使用することができます。Agilent 1290 Infinity II 2D-LC システムでも使用でき、アフィニティ、イオン交換、またはサイズ排除の 1 次元側での分離の後に、2 次元側で脱塩を実行します。



Agilent AdvanceBio 脱塩 RP カートリッジ

- IEX、SEC、アフィニティクロマトグラフィーでの分離後の MS 検出を容易に
- オンラインでのサンプルの脱塩による時間の節約
- MS のダウンタイムの短縮とメンテナンスの低減
- データ品質および結果の信頼性の向上

詳しくはこちら:

www.agilent.com/chem/jp



Agilent Technologies

AGILENT ADVANCEBIO

脱塩 RP カートリッジ



AdvanceBio 脱塩 RP カートリッジの特長

AdvanceBio 脱塩 RP カートリッジは、MS 検出前の脱塩に最適です。
次の特長があります。

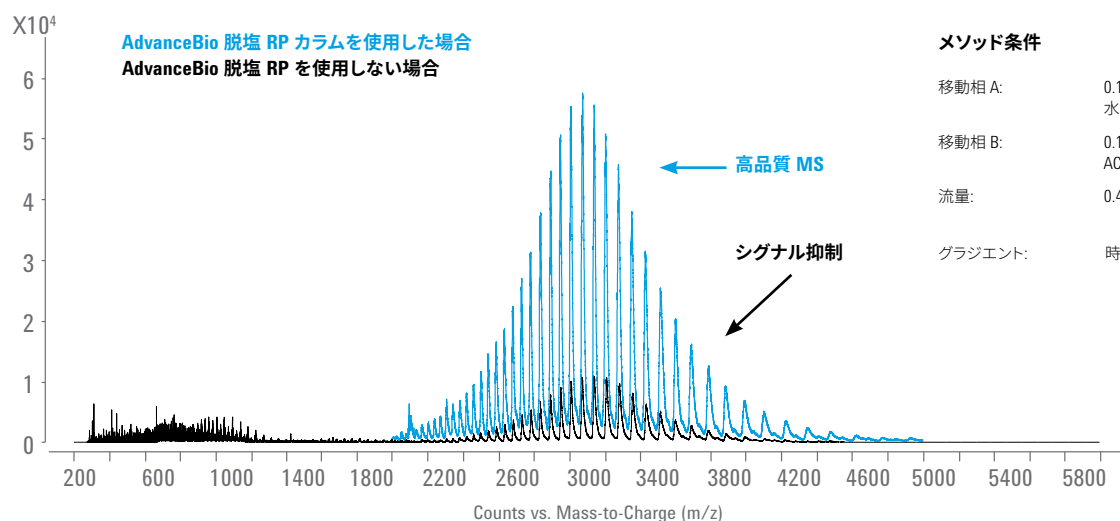
- 10 μm ポリマー逆相充填剤
- バイオ医薬品に対応可能な大きいポアサイズ (1000 Å)
- pH 2 ~ 13 での安定性
- 一般的に用いられる逆相移動相が使用可能
- 便利なカートリッジスタイル (再利用可能なホルダを使用、P/N 820999-901)



ヒント

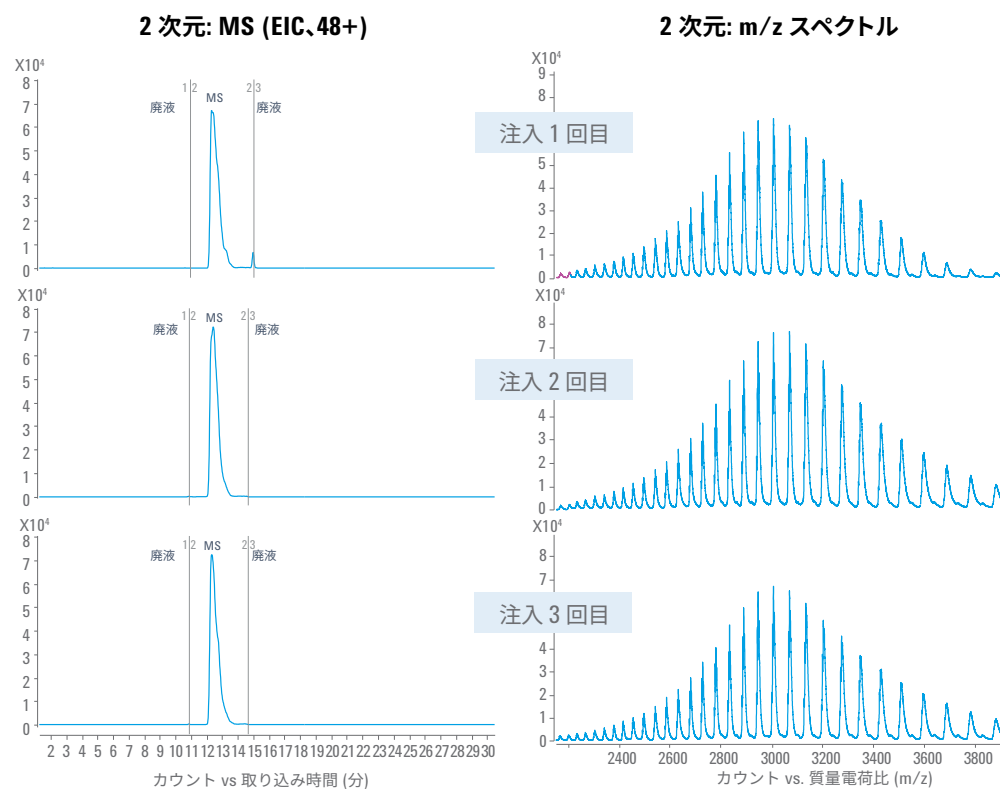
1 次元側の分離には、Agilent AdvanceBio SEC カラム、Agilent Bio IEX カラム、または Agilent Bio-Monolith Protein A カラムをご検討ください。

AdvanceBio 脱塩 RP カートリッジが MS データの品質を向上

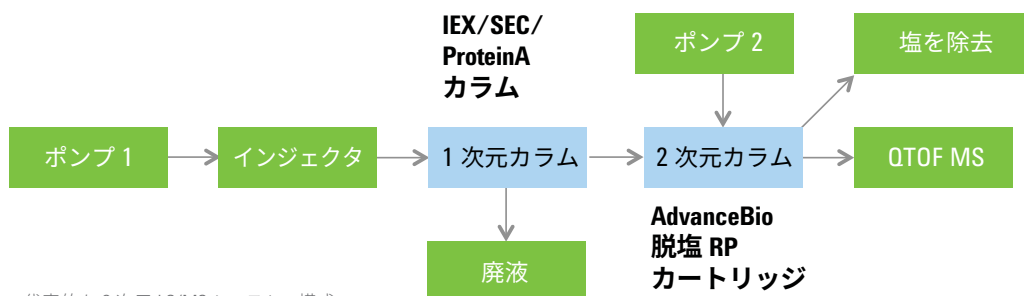


MS 検出前に、オンラインで脱塩操作

再現性の高いカートリッジ性能の証明



mAb1 の 2次元 LC/MS プロファイル。 注入と注入の間の再現性から、AdvanceBio 脱塩 RP カートリッジ性能が確実に一貫していることが分かります。
1 次元カラム: IEX、2 次元カラム: AdvanceBio 脱塩 RP カートリッジ。2 次元 EIC (左) と m/z (右) のプロファイル。



代表的な 2 次元 LC/MS システムの構成

部品番号	説明
PL1612-1102	AdvanceBio 脱塩 RP、3 個、2.1 x 12.5 mm
820999-901	カートリッジホルダ



アジレントの包括的な AdvanceBio ポートフォリオにより バイオ医薬品の信頼性を向上

- **AdvanceBio SEC:** 向上した速度、分離能、再現性、感度で凝集体を分析
- **AdvanceBio Glycan マッピング:** 2-AB ラベル化 N-結合型グリカンの前処理および分析
- **AdvanceBio RP-mAb:** mAb 分析のために設計された唯一の逆相カラム
- **AdvanceBio オリゴヌクレオチド:** 正確で信頼性のある核酸オリゴマーの分離・分析
- **AdvanceBio ペプチドマッピング:** ペプチドを迅速に分離して同定
- **Agilent Bio-Monolith Protein A および G:** アフィニティクロマトグラフィーによる抗体価測定
- **Agilent Bio MAb および IEX:** イオン交換クロマトグラフィーによる電荷変異体分析



ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本資料に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。アジレントは、本文書に誤りが発見された場合、また、本文書の使用により付随的または間接的に生じる損害について一切免責とさせていただきます。

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2016, 2018

Printed in Japan, April 1, 2018

5991-7067JAJP